

選挙公報掲載文原稿用紙

私が市民運動でやつてきたことを 知事になって実現します

山口県のどこに住んでいても、性別、年齢、障がい・持病の有無、国籍、収入の大小による格差がなく、誰もが一生、尊厳を持って生きていける山口県を実現させます。貧困の問題を、民間の支え合いに任せるのではなく、県が責任を持つという姿勢に転換します。



推薦
新日本共産党
社会党

みんなでつくるやまぐち



- 上関原発・核ゴミ中間貯蔵施設はつくらせません
- 軍事基地の強化は認めず、核兵器の廃絶を
- 貧困と格差をなくし「生活の基盤」を整える
 - ・「生活保護は権利です」を周知徹底します
 - ・子ども食堂を支援、子育て支援は第1子から。
- 行き届いた医療、介護を実現
 - ・国民年金でも入れる介護施設をつくる
 - ・地域の病院・介護施設を守る。家族間の介護を支援。
- 誰にも学ぶ権利を保障し、行き届いた教育を実現
 - ・小中学校の給食費無料
 - ・医療費無料の県制度を18歳まで拡大
- 「地産・地消」で食の安心・安全を守る
 - ・農林漁業を基幹産業に位置づけ、小規模農家を守る
- 中小企業を支援し、最賃1500円に
 - ・賃上げする県内中小企業を支援
 - ・働きやすい職場に
- 県民の自主的な文化・芸術活動を応援
- 自分らしく生きる権利を尊重
- 憲法と民主主義を守りぬく

生活の大変さを本当に実感している私を知事にすることで、政治が変わります。
一人ひとりが大切にされる、生きがいの持てる山口県に変えましょう。

お
お
く
ぼ
大久保

ま
さ
こ
雅子

【略歴】1964年、阿知須町（現山口市）生まれ●阿知須中学校、県立山口中央高校、山口芸術短期大学卒●（株）エムラ防府本店、設計事務所などに勤務、2級建築士●現在、セブンイレブン店員と山口大学教職員組合パート書記として働く、非正規ダブルワーカー●西京シネクラ布代表、原発をつくらせない山口県民の会事務局長、原水爆禁止山口県協議会筆頭代表理事●趣味・映画鑑賞、美術鑑賞、読書●家族・夫（介護福祉士）、保護猫1匹